

CSR REPORT

2017



とっても頑固なゴミ屋さん!!
加山興業株式会社

〒456-0055 愛知県名古屋市長久区南一番町15番5号

[本書に関するお問い合わせ先]

〒442-0008 愛知県豊川市南千両二丁目1番地
TEL: 0533-89-0375 FAX: 0533-84-3739

<http://www.kayama-k.co.jp>

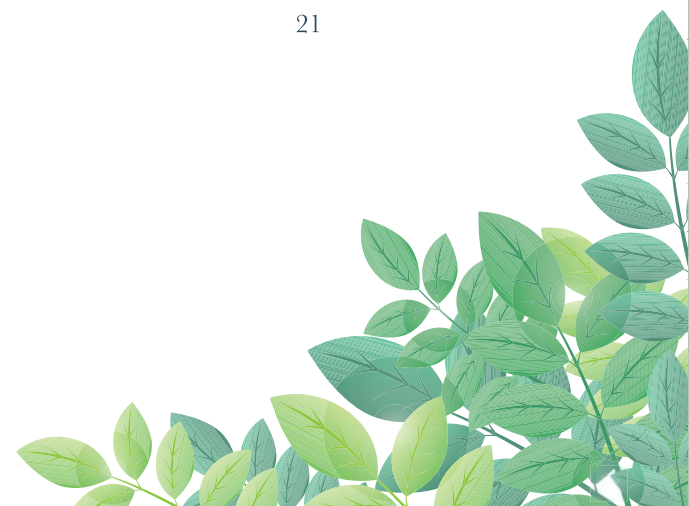
KAYAMA



Contents

特集

トップメッセージ	2
お詫びとご報告	3
ラオス医療廃棄物処理システム導入検証	7
ミツバチプロジェクト & KAYAMAファーム収穫体験	9
環境教育の出前授業 & 職業体験	11
地球温暖化防止への取り組み	13
社会貢献活動	14
防災・事故防止対策	15
環境・労働安全衛生	16
廃棄物処理実績	17
環境測定結果	18
第三者意見	19
会社案内	21



適正処理

今こそ“THINK PROPER”の チカラが問われる時



第56期のCSR報告書作成にあたり、日頃より大変温かいご支援を頂いています皆様方に深く感謝申し上げます。

今期はお詫びの報告からさせていただきます。7月27日に発生したRPFプラントの火災事故について、お客様、地域の皆様をはじめ関係するすべての皆様方にご心配、ご迷惑をおかけしたことを深く、深く反省いたします。弊社の安全管理、危機管理の甘さが原因で招いてしまった今回の火災事故、ただの事故としてとらえるのではなく再

発させない為に管理体制を抜本的に見直し、強化して参ります。あらゆるリスクマネジメントに向き合い、一つ一つ課題を解決し、「安全・安心」な環境を社員一丸となって取り組んで参ります。RPFプラントは10月2日に完全復旧いたしました。復旧に向けご尽力賜りました関係者の皆様には深く感謝申し上げます。約1か月半のプラント停止に伴いお客様には多大なご迷惑をおかけした事、改めてお詫び申し上げます。

56期も様々な事業にチャレンジして参りました。弊社だけでなく、廃棄物処理というものを正しく理解して頂きたいという思いがあります。モノづくりを動脈とすれば、廃棄物処理は静脈です。人が生きていくには両方なくてはなりません。弊社は廃棄物処理のプロフェッショナルとして廃棄物処理のみならず環境ソリューション事業を通じてお客様、地域の皆様方に必要とされる企業を目指していく為、廃棄物処理業者が取り組むCSRとはどのような活動なのか？なぜ取り組んでいるのか？をご理解いただけましたら幸いです。CSR活動は未来永劫、企業が存続する限り続けていかなければならない活動と理解しています。利益重視よりもCSR（企業の社会的責任）に重きをおいて事業運営して参ります。

今後も皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

加山興業株式会社
代表取締役 加山順一郎

RPF工場火災について

2017年7月27日18時頃、豊川営業所RPF工場で火災が発生致しました。周辺地域の皆様、関係当局の皆様、お取引先様ならびにステークホルダーの皆様にご迷惑とご心配をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

再びこのような事故を起こさぬよう、施設・設備の改善を実施し、安全管理体制の再構築と防災対策の強化に努めて参ります。

火災事故の概要

発生場所 …… 豊川営業所 RPF工場 / 愛知県豊川市千両町数谷原618番

発生日時 …… 2017年7月27日 午後5時45分頃

鎮火日時 …… 火災発生同日 午後10時30分頃

被災状況 …… RPF工場内破碎施設、押出成形施設の配線及びベルトコンベアのベルト、建物シャッターの配線

事故の原因

破碎機内部で破砕物及び金属片による摩擦熱が火源となり、ベルトコンベアで運ばれて堆積した廃棄物に引火、延焼したものと考えられる。

事故に対する考察

警備会社・WEBカメラによる24時間監視、作業員は2人勤務体制を整えていたが、異物混入に対する対策と破碎機回転軸の冷却など設備本体の発熱を抑える対策が不十分であったと考えられる。



再発防止に向けた施策とお願い



原因に対する施策

- 1 破碎機に負荷をかけすぎないように管理体制を整え、投入容量を抑えます。
- 2 破碎機本体の発熱を抑える方法(回転軸の冷却など)をメーカーと協議し、対応していきます。
- 3 危険物・金属類の混入を防ぐため、ベール品の搬入をお断りさせていただきます。

点検・管理体制の見直し

- 1 破碎機の刃物は約200時間ごとのメンテナンス(ローテーション・交換)を行っていましたが、始業前点検時に著しい磨耗・破損などが見受けられた場合は担当主任に報告し、速やかにメンテナンスを行います。
- 2 破碎機が油高温などにより停止した場合、破碎機の扉を開け、内部に異常がないかを確認し、責任者の指示のもと稼働します。
- 3 他工場にも同型ではありませんが破碎機があるため、本施策を全工場に展開します。

お取引先の皆様へのお願い

再発防止に向けての施策及び点検・管理体制の見直しにより、

- 危険物・金属類の混入を防ぐため、**ベール品の搬入をお断りさせていただきます。**
- RPF工場は**毎週土曜日**がメンテナンス日となり、原則、**搬入ができません。**
- 設備の点検・メンテナンスに伴い、急な受入停止日をお願いする場合があります。

安全管理・防火体制の強化

RPF工場の仕様変更

- 1 工場外壁の鉄骨下地C型鋼材に埃などが堆積しにくいように不燃材にて内壁を設けることにより、延焼の防止を図ります。
- 2 未破碎物と破碎物との間に壁を設けて延焼の防止を図ります。

搬入物管理体制の再構築

- 1 施設の増設による搬入出量が増加し、指定可燃物の貯蔵量が増えたため、貯蔵量変更の届けを提出し、入出荷管理します。
- 2 搬入量と処理量の把握をより確実にし、処理前廃棄物の滞留を削減します。
- 3 異物混入を防ぐため、圧縮ベールの搬入を停止すると共に取引先への呼びかけと展開検査の強化を図り、改善が見られない場合は取引をお断りします。

消火・防災設備の増設と改修

- 1 監視カメラを増設し、監視センターにて24時間監視し、録画します。
- 2 スプリンクラーの増設と大型移動式消火器を新たに数カ所に設置します。
- 3 放射温度熱感知器を増設し、監視センターによる放射温度熱感知器反応時にはパトライト、警報音で知らせると共に、遠隔操作と手動にてスプリンクラーの自動・手動放水を行うように改修します。
- 4 火災報知器作動時にはブザーとランプのみでの警報でしたが、工場の内外から監視できるように表示灯を工場各所(工場内部及び工場外部)に設置します。



安全管理体制の強化

- 1 防火管理者を選任し、防火管理者と安全衛生委員で消防計画を作成し、計画に基づき防災訓練などを行います。
- 2 防災訓練は年4回、防災業者様の指揮・監督のもとで行います。
- 3 堆積を見逃していた工場内高所の埃の清掃を実施するため、高所作業車を新規に導入します。

今回の火災事故を真摯に受け止め、今後このような事故を起こさないように再発防止に社員一丸となって取り組んで参ります。



ラオスにおいて産業・医療廃棄物管理セミナーを開催

Special Contents

ラオス医療廃棄物処理システム導入検証

国を超え 持続可能な世界へ 共に未来を切り拓く

日本とラオスとの距離

3,920 km

2016年、独立行政法人国際協力機構(JICA)の「中小企業海外展開支援事業~案件化調査~」において私たちが提案した「ラオス国ビエンチャン市における医療廃棄物処理・管理改善に向けた案件化調査」の採択を受けました。

ビエンチャン市は「環境的に持続可能な都市」を目指し、「廃棄物処理条例」の制定にむけて体制の整備を進めていますが、医療廃棄物などの分別が適切に行われておらず、未処理のまま埋め立てられるなど不適切な処分が行われている状況にあります。JICAの採択ではその状況の改善に向けた調査を実施し、わたしたちの「統合廃棄物処理システム」のうち有害廃棄物の焼却・乾燥施設の活用を以って、医療廃棄物の安全で効率的な処理に

貢献することを目的としています。現在、わたしたちはビエンチャン市における未焼却分の医療廃棄物を適切に焼却・乾燥する施設・機材の整備ならびに運用方法の技術移転を目指し、医療廃棄物の排出元である医療機関内での分別状況や収集運搬、過程における課題、最終処分場における処理・処分の実態などを調査しています。

また、調査の過程で廃棄物の処理委託先がないことから、発生量を抑えるために事業を小規模にとどめている企業が多いこともわかり、適切な廃棄物処理システムの確立がラオスのさらなる発展には不可欠であると感じています。廃棄物処理施設というハード面ばかりではなく、国民一人一人が適切な廃棄物処理方法の知識を持ち、環境保

全への関心を持ってもらう環境教育といったソフト面での貢献も重視しています。国を超えて、共に地球環境を守り、共に発展し、豊かな環境未来を創造する第一歩としてラオスでの事業化に取り組んでいます。



投棄された医療用廃棄物



ミツバチと大地が 教えてくれる 人と自然環境との繋がり

ミツバチの巣箱の数

10群

2014年よりスタートしたミツバチプロジェクト。およそ3年が経過し、巣箱の数は10群になり、順調に数を増やし、成長と共に安心と美味しいはちみつを届けてくれています。

豊川リサイクルプラントで行われているミツバチプロジェクトでは環境指標生物と呼ばれる行動範囲が限られているミツバチから採集されたハチミツの成分を分析し、私たちの事業活動が周辺環境に悪影響を与えていないかを確認しています。

このような活動は環境先進国のドイツ、デュッセルドルフ空港でも行われており、採集したハチミツから重金属など有害物質が含まれていないことが証明されています。豊川リサイクルプラントで採集されたハチミツからも有害物質は検出されず、弊社の事業活動が環境へ影響を及ぼしていないことを実証しています。

また、ハチミツの採集会には地域の方たちをお招きして地域交流を深めています。採蜜体験と合わせて、ミツバチの習性や生態系における役割を紙芝居を作り、わかりやすく説明してお伝えしています。広く地域の皆さまに生物多様性への関心を持ってもらう大変重要な場ともなっています。

ミツバチプロジェクトと並行して始まったKAYAMAファームは景観を美しく彩る花々と大地の恵みを堪能できる菜園となっています。ミツバチ

たちを飼育できる環境を整えるため、花や緑を増やす緑化運動を推進しており、ミツバチプロジェクトを支える要となっています。

ミツバチプロジェクトは廃棄物処理による環境への影響を不安に感じる地域の方に安心の証をお届けするプロジェクトであり、KAYAMAファームと合わせて、CSR活動の象徴とも言える存在になっています。



多くの方々にご参加いただいたハーベスト(はちみつ収穫祭)



元気に活動するミツバチたち

エコの心が芽吹き 未来へと大きく育つ 知識と体験を

出前授業の回数

6回



パッカー車を使用して仕組みを学ぶ



班ごとに分かれて話し合いながらゴミを分別



パソコンの手分解を体験する中学生(職業体験実習)



豊川リサイクルプラント見学

わたしたちが最大の使命と考える「次世代のための環境保全」は企業活動を通して、実行することはもちろんですが、未来を担う子どもたち自身が資源には限りがあることや現在わたしたちが抱えている環境問題を認識することもまた「次世代のための環境保全」に繋がると考えています。

このような考えにより、わたしたちは「環境教育の出前授業(小学生)」活動や「職業体験(中学生・高校生)」の受け入れを行なっています。また、グループやクラス単位での工場見学も随時受け付けています。

環境に対する知識がなければ、関心を育てるこ

とは出来ません。わたしたちはそのきっかけとなる知識と体験を提供することで一人でも多くの子どもたちにエコの心が芽吹き、未来へと向かって大きく成長してくれるものと期待しています。

環境を守ることは人の心を育てることから始まります。そのきっかけとなるこの活動を今後も継続して行なってまいります。

職業体験の
受け入れ人数

4人

地球のことを考える企業として
環境経営を推進しています。



ISO14001環境マネジメントシステム

地球温暖化防止への取り組み

— 自然エネルギーの有効活用

RPFプラント屋上に小型ながらも3基の風車が稼働しています。風力発電で得られた電力は夜間照明に使用しています。また、リサイクルプラント屋上とストックヤード屋上には太陽光発電パネル(約100kw)を設置し、稼働しています。自然エネルギーの活用により、CO₂の削減に貢献しています。



夜間照明に利用される風力発電システム

発電量
2,711kw



ストックヤード屋上に設置された太陽光発電パネル

発電量
99,942kw

発電によるCO₂削減量
5,778 kg

(風力1,301kg / 太陽光 4,477kg)

— 電力会社の変更

2016年11月から日本で初めての「100%自然エネルギー(再生可能エネルギー)のGREENaと電力契約を結びました。これまでの電力契約先とCO₂排出量を比較すると、2,497,798kgとなるところが、1,961,822kgと抑えられた試算となります。来期は全期間通してGREENa電力の利用となるため、CO₂排出量が抑えられる見込みです。

電力契約変更によるCO₂削減量
535,976 kg
(中部電力との比較による試算)

— カーボンオフセット

ミツバチプロジェクトで採れた蜂蜜は、採取活動や容器製造にともなうCO₂排出量をゼロにしてカーボン・オフセットしています。このオフセットの仕組みを通して蜂蜜の販売価格の一部を地域の森林保全に寄付することで、地域の森林保全と温暖化対策に貢献しています。



ハチミツの採集を体験する子どもたち

共同社会の一員として世界をフィールドに
様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

国際社会への貢献

— 食糧支援・植樹貢献

植樹貢献事業と人道支援を絡めたWFP FOOD FOR CARBONFREE PILOT PROJECTに参画しています。このプロジェクトは温暖化ガス削減のための食糧支援を目的として、現在、インドネシア東部地域で活動しています。貧困による食料不足の状態であるこの地で、カシューナッツやジャトロファといった環境性・換金性の高い植物の植林事業を支援することで温暖化防止への貢献とともに、貧困地域が永続的、経済的に自立することを目指しています。



西ティモール(インドネシア東部地域)の方々

— ワクチン支援

世界の子どもたちにワクチンを支援する活動に賛同し、ペットボトルキャップを集めています。豊川営業所では回収拠点としても活動に貢献しています。



小学生と先生によって持ち込まれたペットボトルキャップ

— 国境なき医師団への寄付

世界では紛争で家や家族を失い、傷ついた人々があるべき医療を受けられない状況にあります。2010年10月より「国境なき医師団」の活動に賛同し、フィールドパートナーとして微力ながら応援させていただいています。

地域社会への貢献

— 不法投棄撤去

愛知県産業廃棄物協会による不法投棄廃棄物の撤去活動に参加しています。愛知県全域で不法投棄防止パトロールを実施した際に発見された廃棄物を撤去し、適正に処理しています。

— 地域清掃活動

2011年から、毎日豊川工場周辺の清掃活動を行い、環境汚染と景観悪化の防止に努めています。月に2回は範囲を拡大して清掃活動を行なっています。また、豊橋市で行われている愛知県産業廃棄物協会の清掃活動にも参加しています。

安心をお約束。
安全を第一に考えた事業活動を行なっています。

防災対策

消火訓練

火災発生時に迅速かつ適切に初期消火ができるように消火器・消火栓の取り扱い訓練を防災業者様の指揮・監督のもとで行なっています。安全管理体制の強化により、来期からは防災訓練は年4回行います。



実際の火災事故でも活きた初期消火訓練

災害用自動販売機の導入

無電状態でも飲料が取り出せる災害用自動販売機を設置しています。災害時の備蓄飲料として役立ちます。また、豊川リサイクルプラントは豊川市の「防災協力事業所」第一号として登録されています。



災害時の備蓄飲料としての活躍を期待

事故防止対策

アルコールチェッカー

高性能アルコール検知器により、出社時は運転に携わる社員全員がチェックを行うことにより、飲酒状態での乗車防止に取り組んでいます。



カメラ付きアルコールチェッカーでなりすましの不正を防止

エコドライブ講習とシステムの導入

エコドライブ講習で最適な運転方法を学び、管理システムの分析データを活用して急発進・急加速等を抑制し、無事故を目指しています。



エコドライブ講習を受ける社員

働きやすい職場環境の形成と人材を育成する
社内体制の整備を推進しています。



環境・労働安全衛生

環境・労働安全衛生方針の改訂

1. 私たちの廃棄物処理及びリサイクル業務において、ISO14001の規格に基づく環境マネジメントシステム及びOHSAS18001の規格に基づく労働安全衛生マネジメントシステムを従業員全員が構築運用し、継続的に改善すると共に労働安全衛生におけるパフォーマンスシステムを継続的に改善します。
2. 事業活動・製品及びサービスに伴う環境汚染・労働災害と健康障害の予防に努め、当社の環境側面と労働安全衛生の危険源に関係して適用すべき法律・条例及び、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 事業活動・製品及びサービスに伴う環境影響・労働安全衛生リスクの中から、次の事項を重点課題として環境目的・目標及び労働安全衛生目標を定め、定期的に見直しします。
 - ① 全ての作業において安全を最優先とし、安心安全の職場環境を作る。
 - ② 廃棄物の入荷量及びリサイクル率向上に努める。
 - ③ 環境ソリューション事業の強化に努める。
 - ④ 従業員の健康増進に努める。
4. 環境ボランティア活動に積極的に参加します。
5. 危険予知活動の推進により、従業員の安全意識のレベルアップを図ると共に、資格者の充実を図ります。
6. この方針は文書化して公表し、一般の方が入手可能とします。また、全従業員及び当社のために働くすべての人に周知し、環境への意識・労働安全衛生活動の向上を図ります。

労災事故体験講座

安全衛生教育として労災事故体験が出来る機関へ赴き、順番に全社員が受講できるように進めています。



労災事故体験講座を受講する社員

女性活躍推進

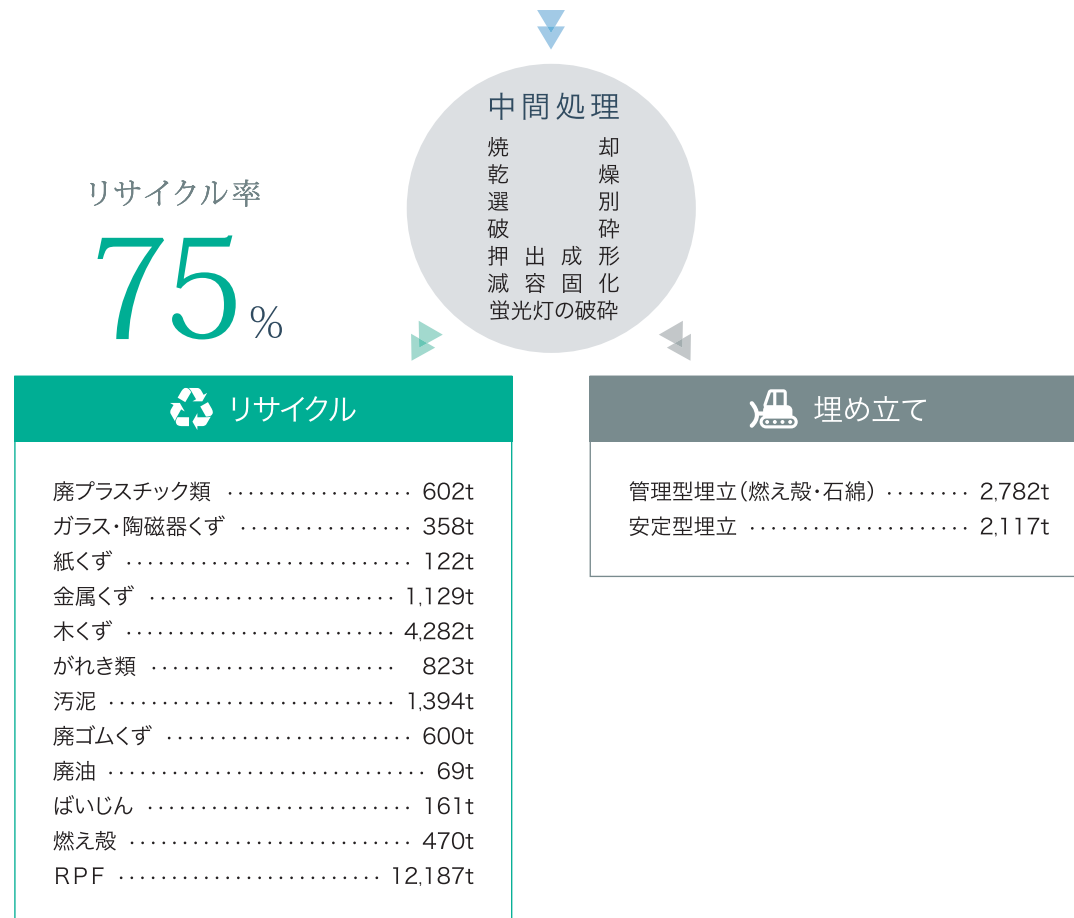
女性社員が安心して、元気に明るく、活躍できる職場環境の整備に取り組んでいます。ダイバーシティ推進についての理解を深め、職場風土の醸成を目指しています。



会長を交えて行われた活動計画会議

廃棄物処理実績

搬入量 38,994t	
紙くず 1,184t	廃アルカリ 24t
木くず 4,336t	動植物性残さ 208t
繊維くず 725t	汚泥 4,007t
廃プラスチック 11,152t	蛍光管 134t
金属くず 1,272t	建設系混合廃棄物 1,172t
ガラス・陶磁器くず 3,107t	その他混合廃棄物 6,138t
がれき類 2,860t	引火性廃油 212t
廃油 901t	感染性廃棄物 673t
廃酸 121t	一般廃棄物 768t



環境測定結果

焼却炉排ガス測定結果 [採取場所:焼却炉集合煙突]

試料採取日	H28.9.30	H28.9.30	H29.1.31
結果が得られた日	H28.10.12	H28.10.12	H29.2.16
ばいじん (g/m³N)	—	<0.003	<0.002
硫黄酸化物 (m³N/h)	—	<0.041	<0.01
窒素酸化物 (ppm)	—	150	47
塩化水素 (mg/m³N)	—	38	28
Co (%)	—	0	0
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m³N)	0.21	—	—
水銀 (mg/m³N)	—	0.004	0.2

運転中連続測定結果 燃焼(全て980°C以上) / 排ガス(全て130°C以下) / 排ガスCO(全て100ppm以下)

燃え殻の溶出試験結果

[採取場所:GB4000]

試料採取日	H28.8.30	H28.8.30	H28.11.24	H28.11.24	H29.2.10
結果が得られた日	H28.9.15	H28.9.15	H28.12.14	H28.12.14	H29.2.21
水銀 (mg/l)	ND(<0.0005)	—	—	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)
アルキル水銀 (mg/l)	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005
カドミウム (mg/l)	<0.003	—	—	<0.003	<0.003
鉛 (mg/l)	<0.01	—	—	<0.07	<0.02
六価クロム (mg/l)	0.11	—	—	0.07	0.04
ヒ素 (mg/l)	0.01	—	—	0.01	0.01
PCB (mg/l)	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005
セレン (mg/l)	<0.04	—	—	<0.01	<0.01
熱灼減量 (%)	—	3.3	—	6.0	—
ダイオキシン類 (ng-TEQ/g-dry)	—	—	1.9	—	—

[採取場所:GB12000]

試料採取日	H28.8.30	H28.10.29	H28.11.24	H28.11.24	H29.2.10
結果が得られた日	H28.9.15	H28.11.15	H28.12.14	H28.12.14	H29.2.21
水銀 (mg/l)	—	ND(<0.0005)	—	ND(<0.0005)	ND(<0.0005)
アルキル水銀 (mg/l)	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
カドミウム (mg/l)	—	<0.005	—	<0.003	<0.003
鉛 (mg/l)	—	<0.01	—	<0.17	<0.01
六価クロム (mg/l)	—	0.05	—	0.05	0.04
ヒ素 (mg/l)	—	0.01	—	0.01	0.01
PCB (mg/l)	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
セレン (mg/l)	—	<0.02	—	<0.01	<0.01
熱灼減量 (%)	5.7	—	—	4.3	—
ダイオキシン類 (ng-TEQ/g-dry)	—	—	1.7	—	—

「とっても頑固なゴミ屋さん」が行う活動の 具体性と実効性の検証から見える 社会貢献と成長へ向けた今後の課題

「とっても頑固なゴミ屋さん!!」。このスローガンには、どのような企業方針が込められているのだろうか。

CSR活動を第三者評価するにあたって、その想いを解釈しながら、活動の具体性及びその実効性を検証してみました。

まず「とっても頑固な」という形容詞は、一般的には、柔軟性がない、なにかと敬遠されがちなイメージがあります。それを、あえて使用している意図は、企業が成長していく過程で、様々な意思決定をしていくこととなりますが、その際の判断軸は重要であり、それにブレない決意の表れであることが分かります。

当社は、産業廃棄物処理業の静脈機能を主たる事業として、地域のサステナビリティのために、環境を保全し続けることが、存在価値であり、事業の基軸であることを、全社員一人ひとりが理解し、決して揺らぐことなく真摯に日々取り組むことの決意表明が、この「とっても頑固な」に込められています。

特に、以下三つの行動指針や具体的な活動に、その一端がうかがえます。

1) 顧客である排出事業者をはじめとするすべての取引企業及び地域から信頼されるために、適正な情報提供と、顧客の“不”(例えば、物理的なゴミ、利用する際の不便さ、情緒的な不快さ等)を取り除くことに、どの企業よりも徹底して取り組んでいるこ

とです。その基礎要件である遵法性については、環境保全関係法令遵守、法人税等の会計処理・契約書・マニフェスト、帳簿の処理などに不備がないように社内チェック機能を強化しています。また、顧客の“不”を取り除く活動では、社員の顧客満足度向上活動から立案されたものの一例として、配送担当の社員が顧客先で、書類を記入する際に、雨や汗で濡れないようにタオルで工夫をし、できるだけ綺麗な字体で丁寧に記入することにしている。また、医療系廃棄物を収集するために、患者の方々がおられる院内に入らざるを得ないときには、持参した清潔なスリッパを使用し、服装を整えて、不快な気持ちにならないように留意徹底したりしています。

2) 次に、迅速で適正な排出物処理への継続的な取り組みがあげられます。当社は、排出事業者の不便さを取り除くために、出来る限り多種多様な廃棄物を回収、処理しています。そのことは、一方で分別、リサイクル、焼却、RPF製造等それぞれの処理過程における生産性向上や品質確保にとっては、両立が困難な課題として常に現場が抱えることになってしまいます。この難解な課題を現実的に解決していくために経営者、現場が常に、情報を収集し、知恵を絞りながら、試行錯誤を直に繰り返していること評価できます。例えば、処理量の増加に対応するため、選別破碎作業配置

を見直し、人の手による仕分け作業だけでなく、光学選別機を新たに導入したりして適正処理の要である分別機能をハードとソフトの両面から高めています。

3) 三つ目として、健全な産業廃棄物処理・リサイクル事業の発展のために、新たな挑戦を続けていることがあげられます。その一例は、JICA採択のラオスでの廃棄物処理案件化調査等、海外に目を向けた取り組みです。発展途上国におけるゴミ処理問題が年々大きくなっていくなかで、資金面、技術面のみならず主体性においても解決していかなければならない課題が山積みとなっています。総論として、この課題解決の必要性は、誰もが理解することであっても、自社にとってどれだけ利益をもたらすかは不確実なことでもあります。しかし、「とっても頑固な」当社は、短期的利益と長期的理念の追求のバランスを保ちながらチャレンジしているといえるでしょう。

次に、「ゴミ屋さん」という表現をしている意図を解釈しながら活動を評価してみました。

まずは、難解な言葉で、外見を重視して自社を表現することよりも、親しみを込めて地域に馴染んでいる企業でありたいとの想いであることが分かります。様々な社会貢献活動をみれば、この想いが表面的な活動ではなく、当社の創業当時のDNAとして受け継がれていると評価できます。

実際、私自身が地域住民の方々から、「加山さん」という親しみのある表現で、好意的な話を耳にすることが多々あります。

また、「ゴミ屋さん」であることの個性に対しての自信(プライド)を社員や業界全体にもってほしいとの想いであると評価されます。これは、プロフェッショナルな職業人(ゴミ屋さん)として、自己研鑽を続けることによって社会に貢献していく決意表明とも理解できます。その想いは、長年にわたる業界の全国団体での中心的存在としての活躍や、ファミリーデイを開催し、社員の家族の方々に仕事の現場を見てもらう機会を設けたりしている取り組みからもうかがえます。

結論として、このように明快な企業理念のもと、必要な取り組みは実施されていると評価することができます。

ただし、企業が成長し、事業規模が拡大していく過程では、課題は複雑化し、取り組み自体が形骸化していく可能性もあります。また、その過程で従来できていたことが、できていないなどの事例が発生することもあります。

今、まさに当社は、その成長過程であり、ミッションである社会貢献と成長のために、会社のしくみの構築と、社員ひとり一人が自ら深く考え、チーム力をもって判断し、行動していく「頑固さ」が改めて重要であると言えるでしょう。

株式会社日本総合研究所
経営戦略クラスター長

主席研究員 東 秀樹



変えてはいけないコト

変えるべきコト

深く考える会社です



事業紹介

廃棄物 収集・運搬

愛知県を拠点に岐阜県、三重県、静岡県など、東海地方一円で廃棄物の収集・運搬を行なっています。GPS搭載の収集運搬車両で確実に処分場まで運搬しています。



— 運輸課

佐竹 徹二



細かい分別回収やお客様の廃棄物量や種類を熟知しているドライバーからお客様への回収方法のご提案などを行なっています。また、多様なお客様のニーズにお応えするため、小型車両・4t平ボディ車両などの専属ドライバーの育成と現在、特殊な作業に従事しているドライバーの更なるスキルアップを目指しています。

— 大府営業所

壁谷 尚記



4tユニック+4tコンテナ交換及び回収、豊川リサイクルプラントまでの往復時間の短縮に繋がる中継拠点としても大府営業所周辺地域のお客様にご利用いただいています。

営業所設立から2年が経過し、お客様の声から見てきた課題もあり、課題の解決により、更なるお客様満足度の追求を行なってまいります。

廃棄物 収集運搬量

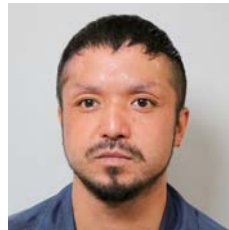
19,825.58 t

廃棄物 中間処理

工場や建設現場から出る廃プラスチック、木くず、オフィスや店舗から出る事業系一般廃棄物、病院から出る医療系廃棄物などのあらゆる分野に対応しています。



— 選別プラント 小野 悦明



選別場にて手作業による粗選別をしています。適正処理の要であり、後の工程に影響を及ぼす大切な作業です。昨年導入した光学選別機により、リサイクル率が向上しました。選別処理後の廃棄物を減らし、選別場内を効率よく、安全に使用できる体制を整えます。また、お客様をお待たせしない迅速な対応を心掛けてまいります。

選別処分量

9,734.725 t

— 焼却プラント 薦田 久



選別・破碎された可燃性廃棄物や医療施設から排出される特別管理産業廃棄物などを焼却しています。建屋から排出されているのはクリーンな水蒸気で、フロンガスを一緒に破壊できる焼却施設であることが特徴です。設備の管理・メンテナンスをしっかりと行い、安全・迅速に処理を行なっていきたいと思っています。

焼却処分量

9,302.880 t

廃棄物 再生事業

廃棄物をできる限り再資源化しています。RPF固形燃料、蛍光管再生、ゴム再生、OA機器等



— RPFプラント 羽田 哲也



古紙や廃プラスチックなどを原料に石炭と同等のカロリーになるように調整し、RPF固形燃料を製造しています。今回、火災事故が起きてしまったことは大変遺憾に思っております。再発防止に向けて、安全管理体制の見直しを行いました。新しい管理体制のもと、気を引き締めて業務を遂行してまいります。

RPF生産量

12,187 t

解体事業

様々な建物の解体工事から解体によって発生する廃棄物の処理まで一貫して行なっています。



— 解体課 山本 太



家屋の解体、内装・外装解体、樹木の撤去など、安全安心をモットーに最善の工法でスピーディな解体作業を行なっています。解体スタート一週間前には必ず近隣へのご挨拶を行い、近隣の方へも丁寧な対応を心掛けています。加山興業＝解体事業となれるように精進し、解体班を3班へと増やすことが目標です。

解体実績

55 件

環境ソリューション事業

次世代に美しい地球を継承していくためにわたしたちは何をすべきなのでしょう？
環境問題と向き合い、深く考え、様々な環境ソリューション事業が誕生しました。



— 省エネコンサルティング

お客様に適した環境に優しいLED照明をご提案から交換工事、廃棄に至るまで一貫して行なっています。



— 片付けサービス

遺品整理・生前整理、お部屋や店舗・オフィスの片付けなど、廃棄処分まで責任を持って対応いたします。



— 電力サービス GREENA

豊かな明日のために、次世代のために、わたしたちはGREENなエネルギーの普及を目指しています。



— 自動おしぼりディスペンサー *プルス Purus*

ビニール袋を使用せず、再利用のための洗剤や保管のための保温庫も不要で、環境に優しいおしぼりです。



— KAYAMA蜂蜜

ミツバチプロジェクトで採れた蜂蜜と東海地方で採れた蜂蜜をブレンド。カーボンオフセットしています。



— 防災用品

トイレに関連した防災用品を多く取り扱っています。災害時にも地球に優しい商品の普及を目指しています。



— ジャコウネコ珈琲

幻の最高級ブルーマウンテンの珈琲豆。売上の一部は現地の農家や孤児院などに寄付されています。

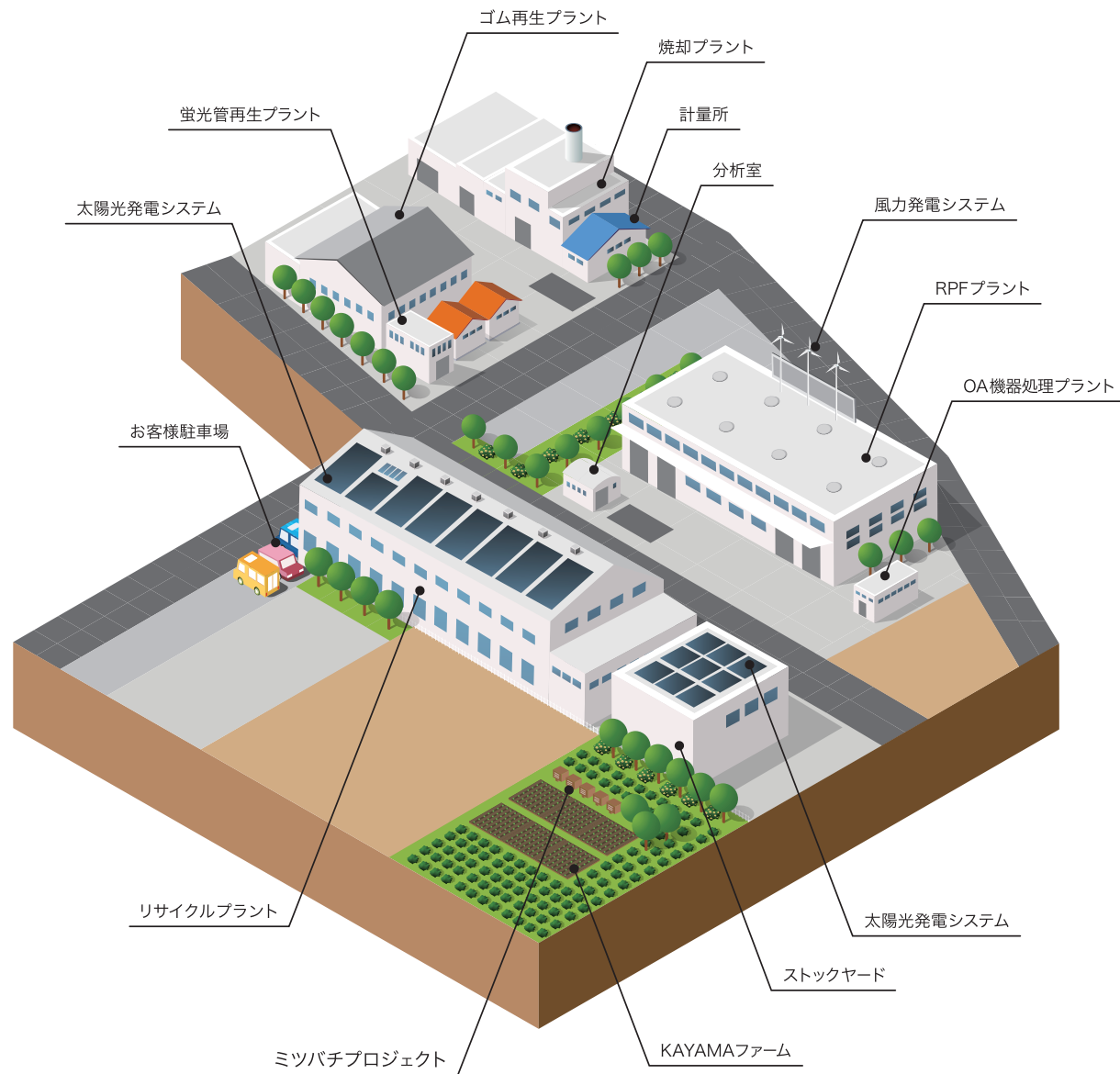


— PCB使用照明器具全数調査

PCBに関する豊富な経験を活かし、PCB全廃に向けた全数調査を行なっています。

 KAYAMA蜂蜜 / 防災用品 / ジャコウネコ珈琲
好評販売中!!  

豊川リサイクルプラント



— 安心と安全のお約束

- すべての作業において、環境保全を最優先します。
- 地域の人々と調和・協調をはかり、廃棄物処理業務を遂行します。
- 処理施設の情報をすべて公開します。また、いつでも見学が可能です。

中間処理方法一覧

廃棄物	破碎	選別	焼却	押出成形	乾燥	減容固化	蛍光灯破碎
汚泥			●		●		
廃油			●		●		
廃酸			●		●		
廃アルカリ			●		●		
廃プラスチック類	●	●	●	●		●	
紙くず	●	●	●	●			
木くず	●	●	●	●			
繊維くず	●	●	●	●			
ゴムくず	●	●	●				
金属くず	●	●	●				●
ガラス・コンクリート 陶器くず	●	●	●				●
がれき類	●	●					
動植物性残さ			●		●		
特別管理産業廃棄物	破碎	選別	焼却	押出成形	乾燥	減容固化	蛍光灯破碎
感染性廃棄物			●				
引火性廃棄物			●				
一般廃棄物	●			●			

業務許可エリア

許可自治体	産廃処分	産廃収運	特管処分	特管収運	一般処分	一般収運
愛知県	●	●	●	●		
豊川市					●	●
蒲郡市						●
新城市						●
設楽町						●
東栄町						●
北設楽郡豊根村						●
半田市						●
岐阜県		●		●		
三重県		●		●		
静岡県		●		●		
長野県		●		●		
滋賀県		●		●		
奈良県		●				
岡山県 倉敷市		●				

基本理念

加山興業株式会社は、次世代のための環境保全を最大の責任と認識し、企業活動のあらゆる面で廃棄物の再資源化ならびに環境に優しい処理技術の研究開発に努め、地域社会に貢献すると共に、快適な職場環境の形成のため、安全衛生に配慮した活動を従業員が協力し、健康と安全の確保に努めます。



ISO14001 環境マネジメントシステム



OHSAS18001 労働安全衛生マネジメントシステム

会社概要

社名	加山興業株式会社	
代表取締役	加山順一郎	
設立	昭和36年11月1日	
本社所在地	愛知県名古屋市長久区南一番町15番5号	
資本金	5,000万円	
従業員	96名(嘱託社員13名含む / パート・アルバイト・役員除く)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物収集運搬業 ・産業廃棄物処分業 ・特別管理産業廃棄物収集運搬業 ・特別管理産業廃棄物処分業 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物収集運搬業・処分業 ・解体業 ・環境機器及び用品販売事業(LED・防災用品) ・養蜂事業(ハチミツ販売)
事業所	豊川営業所 愛知県豊川市南千両二丁目1番地 豊橋営業所 愛知県豊橋市南牛川一丁目15番地の10 大府営業所 愛知県大府市北崎町遠山244番地 岐阜営業所 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通7丁目9番地1号室	
取引銀行	愛知銀行/岡崎信用金庫/蒲郡信用金庫/十六銀行/商工中金/豊川信用金庫/日本政策金融公庫/三井住友銀行/三菱東京UFJ銀行/静岡銀行	
主な取引先	豊川市/豊川市民病院/豊橋市/愛知トヨタ自動車株式会社/株式会社IHI/オーエスジー株式会社/王子製紙株式会社/積水ハウス株式会社/竹本油脂株式会社/津田工業株式会社/株式会社東海理化/トピー工業株式会社/トヨタ紡織株式会社/株式会社ニデック/日本車輛製造株式会社/パナソニックストレージバッテリー株式会社/イオンリテール株式会社/横浜ゴム株式会社/コニカミノルタ株式会社/三菱自動車株式会社/住友林業株式会社/ヤマハ発動機株式会社 他	



豊川営業所

(※順不同・敬称略)

沿革

- 1951 ○ 加山勇雄が警察官を退官し、創業
- 1961 ○ 加山興業株式会社設立
- 1978 ○ 加山昌弘社長就任
- 1983 ○ 選別・破碎プラント竣工
- 1984 ○ 最終処分場許可取得[愛知県7カ所]
- 1990 ○ 焼却プラント竣工
- 1995 ○ 乾燥許可取得[焼却付属設備]
- 2000 ○ 蛍光灯処理プラント竣工
- 2002 ○ リサイクルプラント竣工
- 2004 ○ 解体業の新規事業開始
- 2006 ○ RPFプラント竣工
- 2007 ○ 風力発電装置
- 2008 ○ デジタコ導入
WEBカメラ設置
車両GPS導入
- 2010 ○ 加山順一郎代表取締役就任
加山昌弘会長就任
フロン類破壊業取得[焼却付属設備]
- 2012 ○ ゴム再生事業開始[マテリアル&サーマル]
- 2013 ○ 太陽光発電設置
- 2014 ○ リサイクルプラント イーストヤード竣工
太陽光発電設置
ミツバチプロジェクト始動
- 2015 ○ 大府営業所設立
- 2016 ○ 光学選別機導入



焼却プラント(クリーンな水蒸気が排出されている)



GPS管理画面



ゴム再生プラント